No	総合計画の 位置づけ		テーマと概要
	子どもたちの安心	「学びと対	対話」によるまちの活性化
1		目指す姿	「学びと対話」を重ね、市内外の多様な人を惹きつけ「人が集まる磐田市」の実現
		課題・困り事	・多くの市民が様々な学びの機会に触れる機会の増加 ・学びの機会における対話の場の創出 ・最先端の知識や、ホンモノ(一流)の人と触れ合う機会の創出 ・対話の場から生まれたつながりから、次の一歩へつなげる仕掛けづくり
		現在の取組	・磐田ここからラボ(NPO・市民活動団体、企業、小中学校・高校の学びを支援)
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用 ・講座等の広報、参加者募集、アンケート協力 ・SNS等による開催報告
		担当課	企画部政策推進課
		子どもの	知的好奇心を高める学びの支援 プログログログログログ プログログログ プログログ プログログログ プログログログ プログログ プログログログ アイス
	子どもたちの安心	目指す姿	子どもたちが様々な学びに触れる機会の提供
2		課題・困り事	・子どもの知的好奇心をくすぐる学びの機会、きっかけづくり ・にこっとにて、現在提供しているプログラムは幼児期向けが多く、学齢期向けプログラムの充実
2		現在の取組	・こども向け講座、体験会の開催など
		提供できる サポート	・講座等の広報、参加者募集 ・会場(にこっと)の提供、当日の運営、アンケート協力 ・SNS等による開催報告
		担当課	こども部こども未来課ひと・ほんの庭にこっと
	認知症予防に関する取組 330000 17000000000000000000000000000000		
	暮らしと健康の安心	目指す姿	高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って安心して暮らし続けることができる
3		課題・困り事	・高齢者数の増加に伴い、認知症高齢者数の増加が見込まれる ・市民自らが認知症を防ぐ取組や、認知症初期段階で悪化を防ぐための事業が不十分
		現在の取組	・しゃきしゃき百歳体操、サロン活動の実施・老人クラブへの支援・ヘルスケアアプリの実証
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用・ステークホルダー(介護関係者・機関・事業所等)との連携
		担当課	健康福祉部福祉政策課

No	総合計画の 位置づけ	テーマと概要	
	暮らしと健康の安心	フレイルう	F防に関する取組 3 17 00000 17 0000 17 0000 17 0000 17 0000 17 0000 17 0000 17 0000 17 0000
4		目指す姿	高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って安心して暮らし続けることができる
		課題・困り事	・フレイル状態になった高齢者は、状態が悪化するまで支援につながりにくい ・フレイルを防ぐ事業、フレイルから改善後に機能維持を図る事業が不足
		現在の取組	・しゃきしゃき百歳体操、サロン活動の実施 ・老人クラブへの支援 ・ヘルスケアアプリの実証
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用・ステークホルダー(介護関係者・機関・事業所等)との連携
		担当課	健康福祉部福祉政策課
		結婚サポ	ートの充実
	暮ら	目指す姿	行政ならではの「安心できる」結婚サポートの実施
5	暮らしと健康の安心	課題・困り事	・結婚サポートの取組における最新情報やノウハウの不足 ・事業効果の把握方法 ・職員のサポートスキルの向上
		現在の取組	・婚活イベントの開催(年3回程度)
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用・事業の広報、参加者募集、アンケート協力・ステークホルダーへのつなぎ
		担当課	こども部こども未来課
	ま .	「文化ゾー	-ン」のにぎわい創出・活性化 🎇 🔯 🍪
	まちづくりと防災への安心	目指す姿	"文化×交流 そこからはじまる未来へ輝く人・地域づくり"
6		課題・困り事	・磐田市民文化会館「かたりあ」を中心に、文化施設が集積しているエリアの活性化 ・ハード整備後の「次への一歩」の企画、新たなことにチャレンジできる仕掛けづくり
0		現在の取組	・「磐田市文化ゾーンの活性化方針」の策定・各種イベントの開催
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用・文化ゾーン内施設や関係者、事業所との連携
		担当課	企画部政策推進課

No	総合計画の 位置づけ	テーマと概要	
	まちづくりと防災への安心	森林資源	の活用
		目指す姿	森林資源の活用による森林保全や地域の活性化
7		課題・困り事	・獅子ヶ鼻トレッキングコースの管理とPR ・放置森林・林道の活用 ・倒木・放置間伐材の処理・活用方法
,		現在の取組	・「未来の農林業」連携懇話会による産官学連携の推進 ・無人へりを用いた森林計測による森林の見える化
		提供できる サポート	・森林をフィールドとして活用 ・ステークホルダー(大学、地域おこし協力隊等)へのつなぎ
	.0	担当課	経済産業部農林水産課
	ま	「中心市街	5地」のにぎわい創出・活性化
	らづ	目指す姿	中心市街地に常に人が滞在し、賑わいがある
8	まちづくりと防災への安心	課題・困り事	・イベントによる賑わい創出はあっても一過性になっている(リピーターにならない) ・空き店舗の増加 ・磐田駅北口広場の活用件数の減少
0		現在の取組	・各種イベント(軽トラ市、夏祭り等)の開催 ・軽トラ市におけるLINEを活用したシステム(店舗・イベント情報)の導入 ・市域の再生可能エネルギー導入可能量調査
		提供できる サポート	・店舗データ(空き店舗含む)の提供 ・ステークホルダー(商店主、商店会連盟、商工会議所等)へのつなぎ
		担当課	経済産業部経済観光課
	まちづくりと防災への安心	ゼロカー	ボンシティの実現
		目指す姿	2050年までに市域での温室効果ガス排出量実質ゼロ
9		課題・困り事	・再生可能エネルギーの普及 ・電気の地産地消やカーボンリサイクル、資源等の循環型社会の構築 ・市民、事業者を巻き込んだ脱炭素化に向けた取組の推進
フ		現在の取組	・新エネルギー、省エネルギー設備普及促進奨励金 ・節電促進キャンペーン ・市域の再生可能エネルギー導入可能量調査
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用・市内関係者やステークホルダーとの連携
		担当課	環境水道部環境課

No	総合計画の 位置づけ	テーマと概要	
	まちづくりと防災への安心	空き家の	活用 17 論論 17 論 17 論論 17 論 17 論 17 論論 17 論 17 論論 17 論 17
		目指す姿	空き家等に関する不安をなくし、安全で安心して暮らせるまちの実現
10		課題・困り事	・市が保有している空き家情報の有効活用 ・空き家になる前の対策 ・危険な空き家の早期発見
10		現在の取組	・空き家バンク運営による協力事業者の募集 ・空き家判定ツールの開発運用
		提供できる サポート	・「空き家カルテ」情報(所在地、築年数、危険度)の提供 ・空き家所有者の紹介(意向確認)
		担当課	建設部建築住宅課
	まちづくりと防災への安心	防災情報	を確実に届ける(特に要配慮者向け)
		目指す姿	災害時に防災情報の収集に困らない地域づくり
11		課題・困り事	・一定数、防災ラジオ(アナログ電波)から情報収集をしている住民がいる・いつアナログ電波が終了するかわからない・低コストでの代替手段がない
		現在の取組	・メールやSNSでの情報発信
		提供できる サポート	・公共施設や市内をフィールドとして活用 ・自主防災組織との連携(防災訓練に合わせた実証など)
		担当課	危機管理課
		持続可能な	は農業の推進 2 17 18 17 18 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18
	未来と仕事の安心	目指す姿	自然環境を守りながら生産性の向上を図り、将来にわたって持続可能な農業の実現
12		課題・困り事	・化学肥料の使用量低減、有機栽培農業の推進など、環境に配慮した農業の推進・農作物のブランド化の推進や販路の拡大・AIやICT技術を活用したスマート農業の推進
12		現在の取組	・化学肥料低減定着支援事業・地産外商事業・未来の農林業連携懇話会による産官学連携の推進
		提供できる サポート	・ステークホルダー(農業者等)へのつなぎ
		担当課	経済産業部農林水産課

No	総合計画の 位置づけ	テーマと概要	
	未来と仕事の安心	産業体験型	ピツーリズムの推進 ************************************
		目指す姿	産業体験を通じた交流人口の増加と魅力の発信
13		課題・困り事	・市内の誇るべき産業(製造業、農林業、漁業等)の効果的な魅力発信が不足 ・産業を気軽に体験できる施設や事業者が少ない
13		現在の取組	・令和6年度から観光客の増加と域内経済の活性化を目指し、「いわたおんぱく」(地域資源を活かした体験型ゼミ)の開催を予定
		提供できる サポート	・市内企業データの提供 ・ステークホルダー(商店主、商店会連盟、商工会議所等)へのつなぎ
		担当課	経済産業部経済観光課
		地域資源を	活用した次世代産業の育成 8 2000 17 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2
	未来と仕事の安心	目指す姿	輸送機器製造業に続く新たな産業が生まれるまち
14		課題・困り事	・輸送機器製造業に偏っている産業構造のため、外的要因による影響を受けやすい ・第1次産業の担い手不足 ・情報通信業や第3次産業の活性化
14		現在の取組	・スマート農業、陸上養殖、次世代エアモビリティ(空飛ぶクルマ)産業等の集積 ・職員による伴走支援、相談体制 ・各支援機関との連携 ・市内企業とのマッチング
		提供できる サポート	・豊富な地域資源(温暖な気候、都市部へのアクセス、高い技術力を持ったプレーヤーの集積) ・実装に向けた実証フィールドの提供 ・各種補助金による支援(次世代産業立地補助金)
		担当課	経済産業部産業政策課